2024年12月5日　一般社団法人 医療ISAC

全国各薬剤師会に向けて WEBサイト簡易脆弱性の再診断を実施 生涯学習研修会向けの「情報セキュリティ対策/最新個別指導・立入検査対策セミナー」無償提供を開始

医療分野におけるサイバーセキュリティ関連情報の世界最大の共有ネットワーク、H-ISAC（Health ISAC）の日本支部である、一般社団法人 医療ISAC（代表理事：小森直之、 住所：東京都中央区：以下、医療ISAC ）は、医療機関や薬局向けに、情報セキュリティの重要性について啓発を行い、医療分野におけるサイバーセキュリティの強化を図るために支援を行っています。

＜簡易脆弱性診断の実施＞

医療ISACは、2024年8月27日に全国の薬剤師会が運営するWEBサイトで「簡易脆弱性診断」(※1)を実施し、その結果と対策方法を無償で提供いたしました。その後、診断結果に基づく対策状況の遅れを考慮し、2024年11月29日時点で再度「簡易脆弱性診断」(※1)を実施することを決定しました。この診断結果も無償で各薬剤師会に報告する予定です。

＜セミナーの提供＞

さらに、医療ISACは、各薬剤師会で開催されている生涯学習研修会としてご活用いただける、保険薬局や薬剤師に向けた「薬局における情報セキュリティ対策/最新個別指導・立入検査対策セミナー」を無償で提供いたします。

＜背景＞

医療ISACでは、今年度の調剤報酬改定でセキュリティ要件が追加された「連携強化加算の施設基準」にある「災害や新興感染症発生時等において対応可能な体制を確保していること」を地域の薬剤師会等の会員、非会員であるかを問わず、「地域の薬剤師会を通じて周知している」について実態を調査した際、周知をしているWEBサイトがSSL通信（※2）で保護されていなかったり、複数の脆弱性が見つかりました。この状況は地域の薬局や地域住民の方々にセキュリティリスクをもたらす可能性が非常に大きいと判断し、8月27日に診断結果を無償で提供いたしました。

＜背景（つづき）＞

今回、11月6日の会見で日本薬剤師会の岩月会長が、薬剤師会が公開している「薬局リスト」の意義について問われた際に、「誘導的な情報公開ではなく、薬剤師会という組織が作成し公表しているというところが唯一で最大の目的。それほど薬剤師会という組織は信用されていると思いたい」（夜間休日リスト「一定の役割果たせている」.Pharmacy NewsBreak.2024-11-6）と述べられました。信用できる情報でも、情報が改ざんされたり、WEBサイトのユーザーにセキュリティリスクをもたらす脆弱性が放置されているWEBサイトは信頼性が低下してしまいます。今後薬局のDX化が進む中、薬局は自社のWEBサイトに必要事項を掲示する上で、SSL設定や脆弱性対策を強化する必要があります。その先駆けとして、薬剤師会においては今回の診断結果に対して早急にご対応頂く必要があります。

診断結果の以下の通りです。

「簡易脆弱性診断」結果概要（全国）　※ 2024年11月29日時点

■ 都道府県薬剤師会

薬剤師会WEBサイト数：47

常時SSL未設定：4（8.5%）

脆弱性有りのWEBサイト数：47（100.0%）
平均脆弱性件数：4.9件

Eメール設定：
SPF、DKIM、DMARC（※3）が1つでも未設定：45（95.7%）

■ 都道府県内の地域薬剤師会

薬剤師会WEBサイト数：318

常時SSL未設定：77（24.2%）

＜解説＞

■ 「簡易脆弱性診断」とは（※1）

無料で実施できる簡易脆弱性診断です。調査内容は、以下の脆弱性（WEBサーバー上のプログラムの不具合や設計ミス、設定漏れ等）の有無を診断します。

・常時SSL設定（※2）

インターネット上のWEBブラウザとWEBサーバー間でのデータの通信を暗号化し、送受信させる仕組みです。暗号化をすることで、悪意のある第三者が通信の内容を盗み見る事を防ぐことができます。https://～というようにhttpの後に「S（SecureのS」がついていればSSLが設定され、暗号化されています。

日本国内全上場企業（3,946社）の常時SSL対応状況は93.4%
（株式会社フィードテイラー 2024年10月末時点）
→ 今回の調査では、全体で77.8%（284/365薬剤師会）にとどまっています

・セキュアでないCookieの使用

SSL未設定の通信でもCookieが使用できる設定の場合、Cookieに保存された情報を盗み見られてしまうリスクがあります。

・レスポンスヘッダーによる情報漏洩

ユーザーの操作に対し、WEBサイトが情報をどのように表示するかを指示するのがレスポンスヘッダーです。この指示が誤ったものであったり、未設定の場合、データ形式や情報を書き換えられるリスクがあります。

・WEBサーバーアプリケーションの特定

アプリケーションの種類によって脆弱性が報告されており、特定されることでリスクの拡大が懸念されます。

・Eメールの脆弱性：　SPF・DKIM・DMARC設定（※3）

これらの設定は、Eメール送信元の信頼性を担保するための設定です。未設定の場合、攻撃者がドメインを偽装したフィッシング攻撃を行ったり、受信側のメールソフトがスパムメールとしてマークしてしまうなど、メールが届かなくなるなどのリスクがあります。

これらの脆弱性を放置すると、悪意のある第三者に悪用され、 WEBサイトの運営者（薬剤師会）や利用者（薬局、地域住民に被害が及ぶリスクが発生します。
その結果、薬剤師会の信用に大きなダメージを与える可能性があります。

＜医療ISACが全国の薬剤師会に対してご提供する無償サービス＞

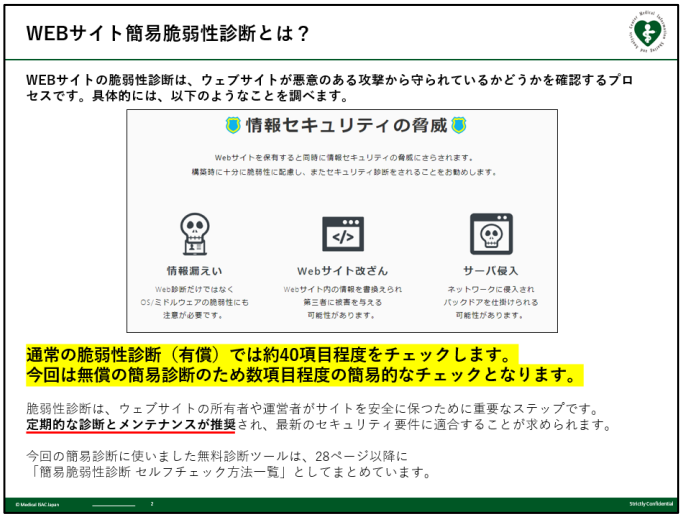
【診断結果レポートの送付】

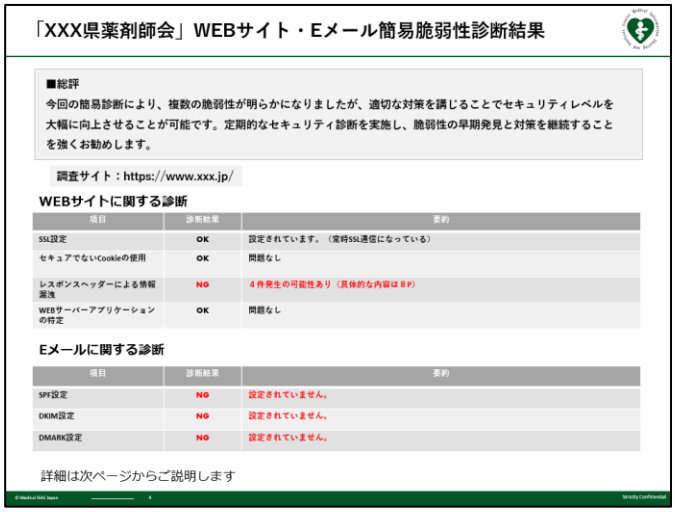
各薬剤師会の詳細な診断結果や対策方法をまとめたレポートを無償で提供いたします。

【会員薬局様向け情報セキュリティセミナー（共催）】

情報セキュリティのリスクを正しく理解し、保険薬局への啓蒙と対策の推進をお願いするために、厚労省の最新情報（「サイバー攻撃リスク低減のための最低限の措置」や「医療機関等におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」等について」）や最新の個別指導・立入検査事例を反映し、これまでのガイドライン6.0遵守に基づくセミナーや研修の知見を活かした「情報セキュリティセミナー」を、薬剤師会に所属する薬局・薬剤師の皆さまに無償提供いたします。

診断レポート（イメージ）

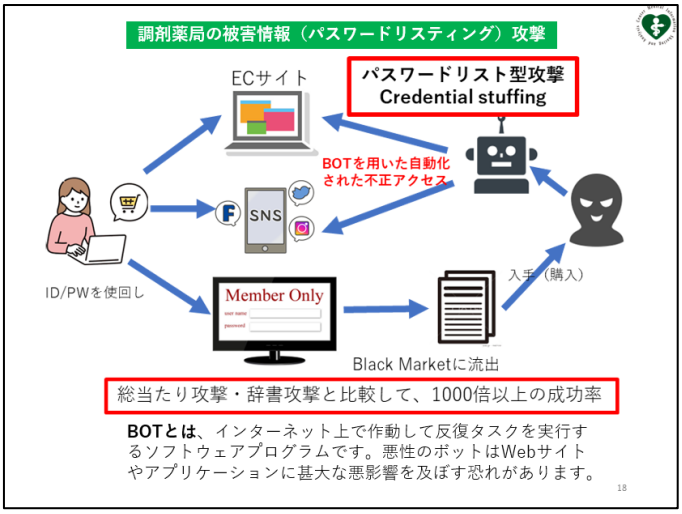


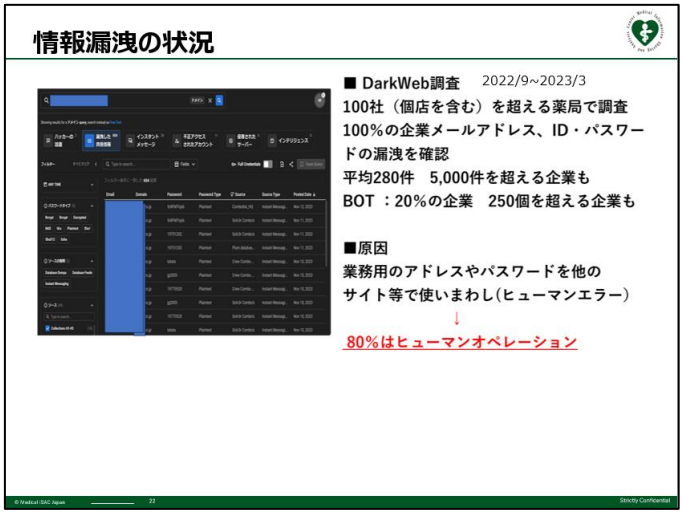


これまで全国の薬剤師会で開催してきた「情報セキュリティセミナー」
主な内容概要

- 薬局業界におけるサイバー攻撃の被害状況
- 薬剤師が守らなければいけない法律と「ガイドライン第6.0版」の法的位置付け
- 「連携強化」、「医療DX」の施設基準に記載されたセキュリティ要件
- 令和6年度版 チェックリストをすべて「はい」にするためのポイント
- 最新の立入検査・個別指導事例
- 今後の厚労省の視点、システム事業者との「責任分界点」

セミナー資料（一部抜粋）





診断結果レポート、セキュリティセミナーの受付フォーム

■ 受付フォームリンク

https://forms.gle/tEu8XF6xvfv8kWsG7

■ QRコード

一般社団法人 医療ISAC　団体概要

商号	：一般社団法人 医療ISAC （英語表記：Medical ISAC Japan）
代表者	： 代表理事　小森 直之
所在地	：東京都中央区
設立	：2013年10月　メディカルITセキュリティフォーラム（任意団体）として活動開始
URL	： https://pharmacy.m-isac.jp/

お問い合わせ先
TEL：080-4858-7696　／　MAIL： fc.info@m-isac.jp